

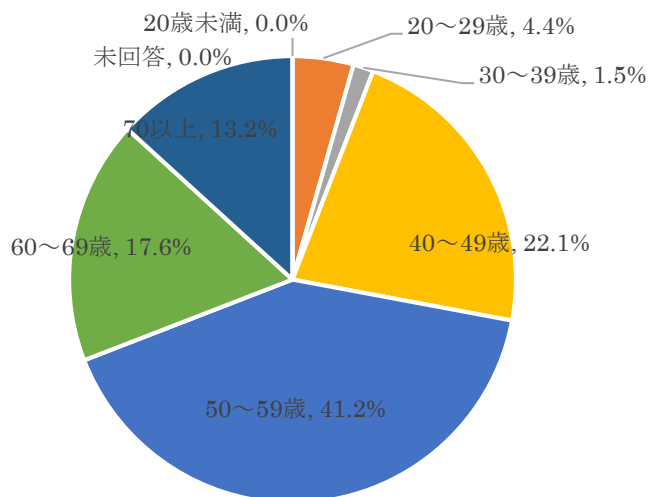
公共施設シンポジウムのアンケート調査結果

公共施設シンポジウム
 ～これからの公共施設を考える～
 日時：平成29年6月3日
 時間：14:00 ～ 16:40
 場所：生涯学習センター第1ホール

	参加人数	アンケート回収数	回収率
公共施設シンポジウム	120人	68人	56.7%

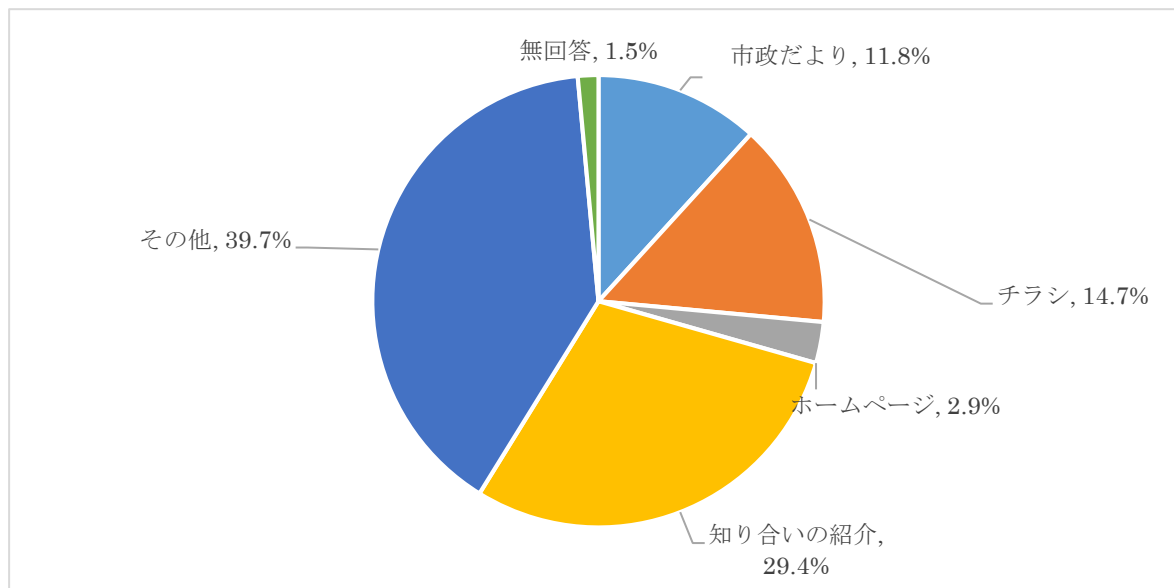
問1：あなたの年齢に○を付けてください。

年齢		数	割合
1	20歳未満	0	0.0%
2	20～29歳	3	4.4%
3	30～39歳	1	1.5%
4	40～49歳	15	22.1%
5	50～59歳	28	41.2%
6	60～69歳	12	17.6%
7	70以上	9	13.2%
8	未回答	0	0.0%
合計		68	



問2：このシンポジウム開催をなにでお知りになったか教えてください。

年齢		数	割合
1	市政だより	8	11.8%
2	チラシ	10	14.7%
3	ホームページ	2	2.9%
4	知り合いの紹介	20	29.4%
5	その他	27	39.7%
6	無回答	1	1.5%
合計		68	

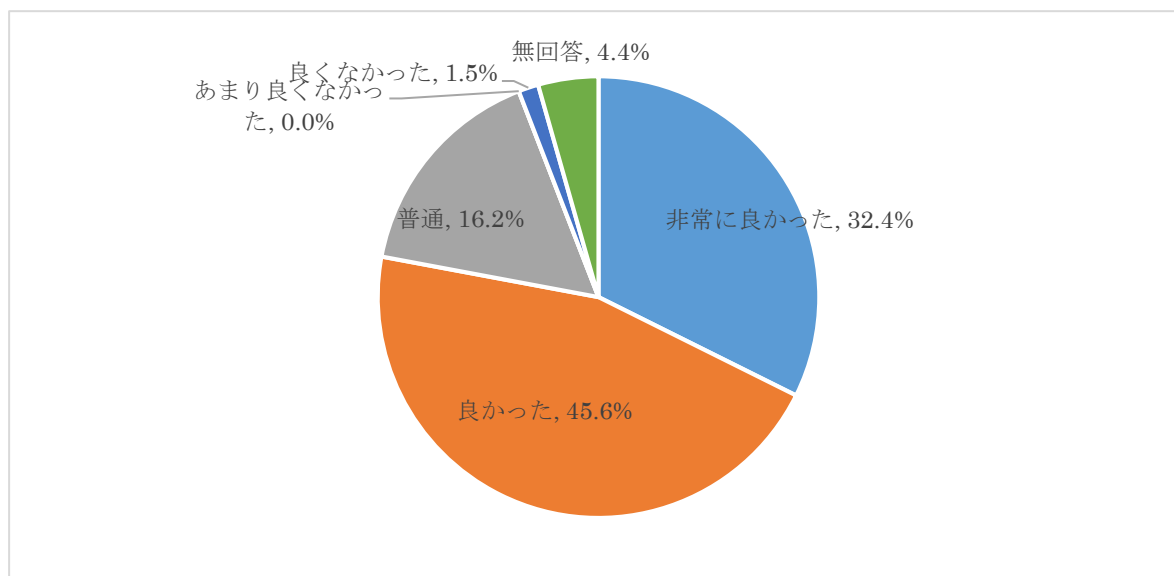


その他

- 市政モニターの集いでチラシあり
- 市の担当者から案内

問3：第1部 基調講演「みんなでつくる公共施設の未来」は、いかがでしたか？

年齢		数	割合
1	非常に良かった	22	32.4%
2	良かった	31	45.5%
3	普通	11	16.2%
4	あまり良くなかった	0	0.0%
5	良くなかった	1	1.5%
6	無回答	3	4.4%
合計		68	



良かった点

- 説明がよくわかった。
- わかりやすい説明。
- 説明内容が理解しやすかった。
- 市民、職員の役割明確に説明。
- みんなでという観点が良かった。
- 問題点を大変わかりやすく講演していただいた。
- 未来志向のお話の内容。
- 行政側と市民側各々の気持ち、立場をよくわかってきていた気がした。
- 意思決定に市民参加する重要性がわかりました。
- “みんな”の具体的なイメージと“話し合いの場”での考え方は具体的で理解しやすい。
- わかりやすい。
- 市の職員に求められる姿勢において地域社会の力量を高めることが、結局行政自身のパフォーマンス向上につながると結論づけたこと。
- みんなで考えることの必要性について説明がよかった。
- 公共施設の問題は自分達市民の問題でもあることに気づいた。
- 公共施設の将来は住民が決めるということの必要性が、よく理解できた。
- 宇治市に即した内容がわかりやすかった。
- みんなで考える、みんなをまきこんでいく考え方。
- 川勝先生の説明がとてもわかりやすかった。
- 市職員に求められる姿勢を具体的に述べて頂いた。
- 前向きな課題であるという視点、公共施設のコミュニティ・文化的価値。
- わかりやすかった。
- みんなの意味、多くの人に関わっていくことの大切さを感じた。
- わかりやすい説明だった。
- 市民、住民との協働の考え。
- 行政と市民の今後の考え方→進め方が良くわかった。
- わかりやすい説明でよかった。

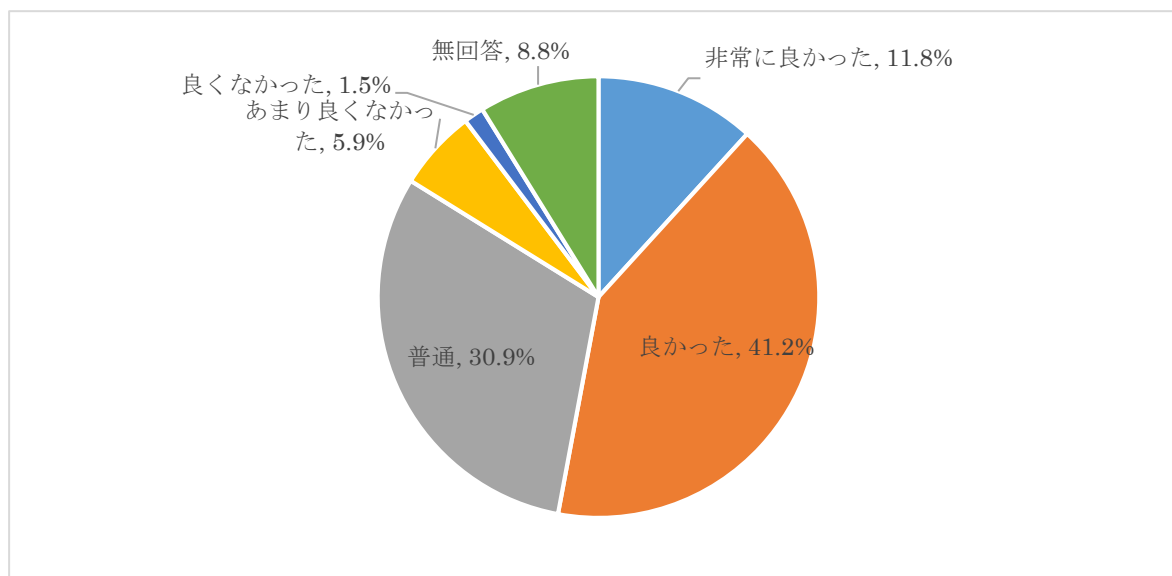
- なぜ公費施設が必要なのかがよくわかった。
- 地域社会の向上に向けてやってみる意味がわかった。
- 資料がわかりやすく、話も明瞭だった。
- わかりやすい。
- 具体的な取り組み・考え方の時間が重要であること。自分なりに取り入れていけるかなあと受けとめられました。

良くなかった点

- 具体例があると良い。
- みんなは重要だがリーダーシップの方が大きい。(スピード感なし)
- 具体的な事例紹介があれば良かった。
- 他府県などで住民から上手くいった具体例をあげてくれたら良かった。
- 講義内容にもう少し時間を長く取って頂きたかった。
- 基調講演だからこれでいいのかも知れませんが、市民はどのように動けばいいのかヒントがあればと思って参加したのですが…。
- 問題提起の更なる説明を聞きたい。
- お金の問題。
- 本音部分が不透明。
- 意味不明、所詮部外者の論。
- 知っていることが多かった。
- 字が細かい。

問4：第2部 宇治市の公共施設等の現状については、いかがでしたか？

年齢		数	割合
1	非常に良かった	8	11.8%
2	良かった	28	41.1%
3	普通	21	30.9%
4	あまり良くなかった	4	5.9%
5	良くなかった	1	1.5%
6	無回答	6	8.8%
合計		68	



良かった点

- 深く考えなかった公共施設のあり方について具体的でよかった。
- コンパクトでわかりやすい説明であった。
- ポイント良くまとめられている。
- 宇治市の現状がわかった。
- わかりやすかった。
- 宇治市の現状を家計に例えてもらったことがわかりやすかった。
- 説明がわかりやすかった。
- わかりやすい説明。
- ききやすい。
- 公共施設の更新費用がどれくらいかかっているかという点がよくわかった。
- 現状がよく分かったこと。
- 宇治市の現状を認識することができた。
- 市の現状が良く理解できた。
- 現状がわかりました。市としての姿勢も聞きたかったです。
- 財政的にきびしいのがよくわかった。
- 削減しかない事が理解できた。ドラスティックに進めてほしい。
- 話はわかりやすかった。
- ポイントがまとまっていた。
- 地域での取り組み、コミュニティの取り方、良いところ、悪かったことも見えてきました。

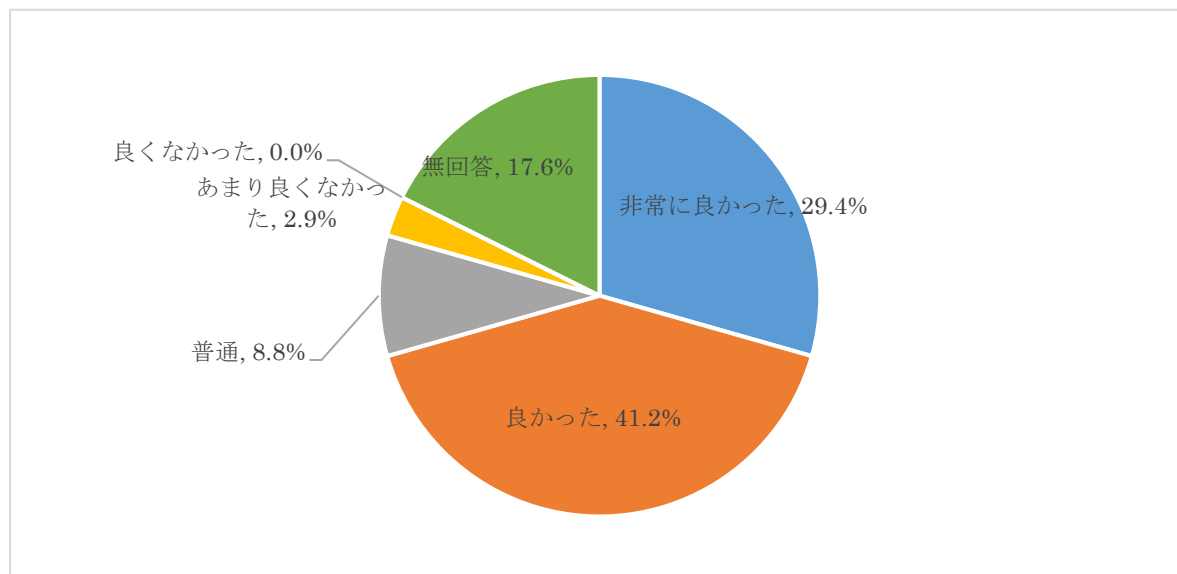
良くなかった点

- 時間が短く、初めての市民がいたら伝わったかと…。
- 字が見にくかった。
- もっと危機感を市民に説明すべき。
- 「%」ではなく「実数」だとどうなるか不明。なぜ床面積でみるのか。
- 時間が足りなかったので、説明不足感是否めない。
- 最初のパワーポイントの資料は改善が必要。
- 市の公共施設の現状、市民アンケートの結果、検討中のアウトライン等の紹介があれば良かった。

- 時間をもう少し長く取った方が良かった。
- 第1部と同じ内容があった。
- 時間が足りない、説明不足の感あり。
- 民間の資本をもっと導入してやるべきではないか。
- 財源がないから縮減・削減ありきにしか聞こえなかった。
- バリアフリーでない、せまい！！
- 中身は知っていることがあった。
- 字が細かい。

問5：第3部 パネルディスカッション「子どもや孫の世代に胸を張って引き継げる公共施設等のあり方」については、いかがでしたか？

年齢		数	割合
1	非常に良かった	20	29.4%
2	良かった	28	41.3%
3	普通	6	8.8%
4	あまり良くなかった	2	2.9%
5	良くなかった	0	0.0%
6	無回答	12	17.6%
合計		68	



良かった点

- 他の様子が良くわかった。
- PFI、習志野市の先行例がきけたこと。
- それぞれの立場でのお話し。
- 問題解決のヒントが明確になった。
- 進行がスムーズだった。
- 民間活用が必要。
- 森先生のお話、寺沢さんのお話。
- いろんな意見が聞けた。ちょっと話しの接点がブレぎみの気もした。
- 興味深い内容がパネリストのいろんな分野から聞けて良かった。
- 公共施設のあり方を考えるのは、まちづくりそのものであるということがよくわかった。
- 強めの方、まとめの方、説明の上手な方、おもしろい組み合わせでした。
- たくさんの意見を聞くことができた。
- 民間活用の進め方について、イメージできた。
- コーディネーター、パネリストのいろんな視点が参考になった。
- 先進事例の紹介、民間活用。
- 民間との連携の必要性等勉強になった。
- 民間活用。
- 公共施設の民間とのマッチング等の考え方、手法等の説明がよかった。
- 多様な意見が聞けた。
- わかりやすかったし、問3、問4のフォローが十分にできていたと思う。
- 寺沢氏の人を呼ぶしくみの大切さ、民間のアイデアの一端がわかった。
- パネリストがよかった。
- 民間の力を導入して成功した全国の各市の例をあげてもらって参考になった。
- 具体的な事例が参考になった。
- PFI協会さんの具体的かつ斬新なアイデア、習志野市さんの実践報告。
- 各方面のパネリストの意見が聞けてよかった。

- パネラーの揃え方がよかった。
- 民間の活用という新しい視点を得ることが出来た。
- 民間活用の具体的、先行的な取り組み例が聞けてよかった。

良くなかった点

- 意見の反映感が低い。
- 時間がもっとあれば良かった。もっと続きを聞きたかった。
- 問題が具体的でない。
- 公共施設に関する内容から少し外れている説明があったのでは。
- 市民の具体的な話がなかったので残念である。
- 具体性に欠ける。
- 名前の字が細かい。

問6：そのほか、ご意見・ご感想があればお聞かせください。

- 出前懇談会で一般市民が傍聴のみで、意見を言おうとしても受けられなかったのは問題がある。市の姿勢をあらためてほしい。
施設を管轄される部署ごとに作る必要があるでしょうか？ 枠をとり除くことで、世代やグループ間の認識ができる所もあると考えます。
例) 子供と高齢者
集会所等には以下の種別と利用状況があると思います。
 1. 公民館 社会教育や各種サークルの活動にかなり利用され、有効に使われています。是非とも必要な施設です。
 2. コミセン たて割り行政のたまものと思いますが、公民館的機能をはたしている面が多いと思います。
 3. 集会場 宅地開発に伴い作られているものが多く、殆ど使われていない場合が多くメンテナンスの問題をかかえています。町内会・自治会の集まる拠点が別に考えられればなくしてもいいと思います。一方、一部では活発に使われている場合もあります。以上の内容を正しく把握いただき、計画を決めていただきたい。
- もらっている資料アンケートでは減少施設が集会所となっている事にはがっかりです。地域集会所は狭あいでも古くなり毎年建替の要望書を出しています。今後希望がかなえば何らかの対処方法を考えられないでしょうか。
- 数値的目標を必達する。
- 夢の持てる施策の発表を多いに期待します！！
- 民意の反映の難しさをどのように克服されていかれるのか、その手法、やり方もお聞きしたいです。今日の取り組みの意義が結果的に大きく反映されることも大切だと思います。
- 利用される公共施設でないといけなんでしょうし、今の時代に求められる公共施設というものは多分あるのでしょうか。集会所とか新しく建て替えられる必要はないと思いますが、よい建物ですし、有料で貸し出すとかもっと利用されてはいかがですか。利用される施設ということは重要なことなのでしょう。
- パワポ資料 市民アンケート（4）誤字。
- 習志野市早川主幹の発言において、市と市議会は敵対関係にあるのではなく、公共施設について協働して計画を構築していくことが大切であると言われましたが、まさにその通りだと思います。
- 演台の名前 明朝体→ゴシックにすればよかった。
- 20年、30年後の市の将来像が具体的に見えていない、示されていないと考える。将来像があつての公共施設のあり方ではないか。
- 皆があつまって交流・学習・活かしあいなど出来る
宇治公民館をぜひ残してほしい。耐震化・バリアフリー化等も考えてほしい。
川勝先生の最後の文章、話で出た「地域の人たちの想いが尊重された町のみ、真の意味で有効になる」は大切に、そのとおりだと思います。
- 共同学習の場である、公民館・市民会館は絶対に残してほしい。特に里尻にある公民館・市民会館は、現地で建替えるか、耐震・バリアフリー化を急いでください。
- 講演、シンポジウム共にとても有意義な内容であり、参加できてよかった。
本題ではないが、休日の開催であれば、午前中もしくは夕方の時間であると時間の有効活用ができて助かります。
- 管理計画策定のプロセスが例える「地区協議会」のようなものにつながれば良いのではないか。
- 経済成長期であれば、より生活がしやすいように公共施設を増やしていく事も良いが、この先の経済成長は見込めない可能性が高いので、公共施設の削減を含めて、リスクのない未来へのまちづくりを望みます。
- パネリストの人選が良かったと思う。
- まちづくりの観点が必要だと思った。考える大事さを感じた。
- 放送設備（マイク）の音が大きすぎて、頭に入らない。今後は少々小さめで聞く人が集中できる方式をとればもっと良いのではないか？
- 自治会集会所の在り方について、色々と議論が交わされているが、社会変化に伴い、自治会の維持が難しい今日、どのような方策が考えられるのか！
公共施設のあり方、ソフト面が中心であったが、私の思いではハード面のディスカッションと認識していた。勉強不足であった。
- 施設に民間より資金の提供を受ける（例：大阪ドームを京セラドームに名称を変えて資金提供を受ける）その他、色々資金提供を受ける方法を考える。
- 今の状況はよくわかった。それを踏まえて具体的な計画を公平公正にたてていくのは非常に難しい。

- 民間の力をかりるのも良いと思った。
- 講演における臨時財政対策債の考え方はわからない。
- 他の施策・政策を継続・実施するための財源を生み出すために公共施設の総量削減するというように聞こえるが、そもそも、様々な施策を実現するために必要な施設は必ず存在するものであって、何でもかんでも削減ありきではないと思いますが…。
- 太閤堤の大型施設を進めたいのならハッキリとテーマとして扱いなさい。
- 多様性、フレキシブルな施設を各地に造ってはどうか（総合）。
大型店舗にテナントとして入る施設があってもいいのではないか。
- 時間の制約があり、仕方ないと思うが、パネルディスカッションの時間がもっともっと多ければよかったと思う。
- 行政→削ることありきではダメ
市民→守ることありきではダメ
- 忘れることなく復習しながら後継者に継ぐことができるように取り組んで参ります。